



～東京学芸大学、立正大学との産学連携による共同研究～ 日本初！保育園向け「STEAM 教育プログラム」を開発 全国展開に先駆け、モデル園 2 拠点で STEAM 教育を開始！

株式会社ニチイ学館（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：森 信介、以下ニチイ）は、国立大学法人東京学芸大学（住所：東京都小金井市 学長：國分 充、以下東京学芸大学）及び立正大学（住所：東京都品川区 学長：吉川 洋）と、日本初となる保育園向け「STEAM 教育プログラム」を共同研究・開発し、全国展開に先駆け、6 月よりニチイキッズのモデル園 2 拠点の 5 歳児クラスにおいて STEAM 教育を開始いたします。

STEAM 教育は、「Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）」の 5 つの分野を横断しながら、広くつなげて学ぼうとする活動です。

開発を進めている「STEAM 教育プログラム」は、幼少期から、自然なかたちで楽しみながら、子どもたちの「自ら考えや思いを持ち、表現し、やってみようとする原動力」を育むことを目的とした教育プログラムです。

遊びや生活の中で STEAM の各分野を横断的・総合的に触れながら、想像、観察による問題の発見、情報収集、分析による問題となる原因の特定、課題の設定、工夫、実践へと至るステップを踏みながら、協働して、創造的に問題を解決する力の素地を養います。

例えば保育園の「歌」に注目してみます。楽しく歌うだけでなく、「歌詞」の意味や情景はどうだろう等、STEAM では歌った先に、子どもたちが「自分なり」の想像や表現を楽しむことができる安心した空間と時間を設け、広がっていく子どもたちの表現を丁寧に捉えます。そして、十分に広がった「自分なり」の考えを「だれかのために」という視点で活動を展開させていきます。「だれかのために」という共通の目的に向かい、子どもたちは協働したり、調べ物をしたり、データを集めたりします。子ども自身の発想や工夫が、誰かのためになる（エンジニアリング）経験を大事にすることが本プログラムの特徴です。



まずは、6 月より千葉県柏市及び神奈川県横浜市のモデル園（5 歳児クラス）にて「歌」や「劇」に係るプログラムを実施。7 月以降、プログラムの拡充とブラッシュアップを行い、10 月の全国導入（5 歳児クラス）につなげてまいります。そして、3～4 歳児クラス向け、2 歳児クラス向けのプログラムを 2023 年を目処に開発し、ニチイキッズに通う全てのお子さまに提供できる体制づくりを目指してまいります。

ニチイキッズでは、保育理念である「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」に資する STEAM 教育を教育要素の「核」として取り入れることで、園児たちが創造的、協働的に問題を解決できる環境を提供し、小学校への連結強化及び保育サービスの更なる質的向上へとつなげてまいります。

「STEAM 教育プログラム」開発の概要

1. 共同開発の背景

近年、AI やロボットをはじめとしたテクノロジーの発展はめざましく、テクノロジー化の進展に伴い、あらゆる人やモノと広くつながる新しい社会へと大きく変化しています。この新しい社会において、子どもたちには「どのような社会を創っていきたいかを考え、その思いを表現する力」が求められており、その力を身に付けるための教育手法として、STEAM 教育が世界中で注目されています。日本においても、2019 年 5 月開催の教育再生実行会議において初等中等教育での STEAM 教育の推進について言及され、高校教育での導入が検討されています。

このような社会環境において、ニチイ、東京学芸大学、立正大学は、保育活動の中で「思いを表現する、やってみようとする原動力を育むこと」が STEAM 教育の始まりとして大変重要であると考え、今回の共同開発に至りました。

【各者の役割】

ニチイ	保育園への STEAM 教育の導入推進／保育現場の視点からの研究参加
東京学芸大学	主に STEAM 教育の視点からの研究参加及びプログラム案の作成
立正大学	主に幼児教育の視点からの研究参加及びプログラム案の作成

※本研究のマネジメントは「特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所」が行っています。当法人は、広く一般市民を対象として東京学芸大学の「知」（教育に関するノウハウ）を地域に還元していくことで、子どもが健全に育つ環境の整備、学校内外の教育力の向上に寄与することを目的とし活動をしている団体です。

2. 保育園における STEAM 教育について

保育園における STEAM 教育では、自分の思いを「自分なりに表現する（Art）」に留まらず、「誰かのためにやってみる（Engineering）」にステップアップさせていくことがポイントです。保育活動に STEAM 教育の考え方をプラスし、子どもたちにアプローチしていきます。

おもいっきり STEAM

【おもいっきり、思いを表現できるための活動】

思いを持てる、思いを表現する：Art（図工、美術、音楽）

→自分がどうしたいかという思いをもち、自分なりに表現する

【おもいっきり、やってみようという原動力を育むための活動】

1. 数量でとらえたり、思いを探せる：Mathematics（算数・数学）

→数量的に観察したり、インタビューや観察等で情報を集めて処理する

2. 誰かのためにやってみる：Engineering（エンジニアリング）

→自分の思いを大切にしながら、得られた情報をもとに「誰かのために」やってみる

3. 興味を探したり、やってみるときに深く観察できる：Science（理科）

→自分が興味をもったこと、やっていることを観察する

4. 新しいツールを使ったり、目的に向かって工夫できる：Technology（技術）

→新しいツールを使ったり、「もっとこうやってみよう」と思ったことを工夫する

■プログラム開発責任者コメント



東京学芸大学大学院 教授
東京学芸大こども未来研究所 理事長
大谷 忠氏

新たな価値を創造する教育として STEAM 教育が注目されています。新たな価値を創造する教育において、その基盤を造るためには幼児段階から価値創造を生み出すことができる原体験を積み重ねていくことが必要です。このような教育は、ニチイが進めるおもいっきり保育と重なる部分が多く、この「おもいっきり」の中に幼児の STEAM への気づきや活動が広がることを期待しています。



立正大学 専任講師
東京学芸大こども未来研究所 副理事長
山田 修平氏

本研究が目指す子どもの姿は「こうなってる!」と気づき、「こうしてみよう!」と主体的に遊び学ぶ子どもたちです。生活の中にあるたくさんさんの「STEAM ポイント」を子どもと保育者が一緒に見つけ、価値のある遊び学びを体験していく保育内容の開発を目指しています。昨今、保育の質の向上が求められる一方、保育士の働き方改革も求められています。子どもたちの「こうしてみよう」からはじまる STEAM 教育は、保育の質向上と保育者の心身のゆとり、一人一人に寄り添った丁寧な保育につながるものと期待しています。

■お問い合わせ先

■サービス内容について

株式会社ニチイ学館
保育専用フリーダイヤル（年中無休・24 時間）
TEL : 0120-415-821
Mail: nichiikids@nichiiigakkan.co.jp

■本リリースについて

株式会社ニチイホールディングス 役員室
統合経営部 統合経営課【担当：磯野・植野】
TEL : 03-3291-3954 FAX:03-3291-6864
Mail: kouhouka@nichiiigakkan.co.jp